

適合判定機関の審査状況

構造計算適合性審査に係る追加説明書等の要求事項

- 集計表
- 補正及び追加説明を要求した内容
 - ※比較的回答が多い項目を抜粋しました

一般財団法人 福島県建築安全機構

□集計表

◇平成24年4月～25年3月で判定が完了した物件について (全 192棟)

- ・今回調査分 → 192 棟
- ・今回調査分の要求事項項目 → 1,676 項目

■要求事項の内訳

項目大分類	項目小分類		項目数 (%)
概 要 書	G1	—	16 (0.9%)
構 造 図	Z1	—	337 (20.1%)
計 算 書	S1	荷 重	236 (14.0%)
	S2	モ デ ル 化	222 (13.2%)
	S3	応 力 解 析	54 (3.2%)
	S4	断 面 算 定	151 (9.0%)
	S5	柱 脚 の 設 計	22 (1.3%)
	S6	基 礎 の 設 計	181 (10.7%)
	S7	保 有 水 平 耐 力	68 (4.0%)
	S8	そ の 他	112 (6.6%)
	S9	小梁、フレス、その他	271 (16.1%)
安 全 証 明	T1	—	6 (0.3%)
認 定	T2	—	0
全 項 目 数			1,676

□補正及び追加説明を要求した内容

※比較的回答が多い項目を抜粋しました

No.	説明要求事項：概要書[G1]
1	層間変形角の算定に於ける1階階高がX方向=6315、となっていますが適切か確認して下さい。
2	保有耐力の層間変形角が1/75となっていますが、P307, P376では1/100と不整合です。

No. 説明要求事項：構造図[Z1]	
1	1階、H通～K通の外部通路の床、壁の配筋を示して下さい。
2	1階床の剛床はどの様にして確保していますか。構造図に1階床の仕様を明記して下さい。
3	2通、9通、G通、F' 通軸組図のルーバー受け材が伏図と不整合です。その他部材も合わせて、伏図と軸組図で整合させて下さい。
4	4通りD～E間/1～5階のスリット、軸組図にスリットがあり、計算書12/363頁には無く不整合です。また、同様の壁で、スリットの工法が異なっていることについて説明して下さい。
5	5通りに階段受け材がありません。追記して下さい。
6	ABR490アンカーボルトの長さは規格にあるか確認して下さい。
7	B10の下主筋は端部と中央部で主筋径が違いますが、適切か確認して下さい。
8	B1接合部がS-08リストと不整合です。
9	D, E通り柱符号, E通り1～2間の梁符号が抜けています。また、通り芯と柱の距離がわかるように伏図に寸法を記入して下さい。

No.	説明要求事項：荷重[S1]
1	1,2階の浴室内壁(RC)の重量、ELVのピットの重量は考慮されていますか。
2	1階、ピットの位置が計算書と図面で不整合です。
3	1階、厨房の床荷重の根拠を説明して下さい。(シンダーコンクリートの有無と仕上荷重と積載荷重)
4	2F床3(屋上機械室)の固定荷重がP3-1荷重表と不整合です。
5	2階1～2通り間の屋根庇の表示がありませんが、庇の荷重は入力されているか確認して下さい。
6	2階アルマイト処理室・メッキ処理室の固定荷重の内訳を追記して下さい。
7	CS1,3,4,5先端荷重の内訳を追記して下さい。また、CS2先端荷重が考慮されていません。
8	ELVの荷重が不明です。反力による耐圧版の設計及び荷重をSS3に考慮して下さい。
9	FB1、2、3、4の集中荷重内訳を示して下さい。
10	NO.24梁フカシの厚さはスラブ天端までと考えられます。確認して下さい。
11	RCのW30とW40の壁重量を接点荷重として入力していますが、地中梁で負担する必要がないか確認して下さい。
12	SB7(RF屋根)の計算でLBの値は適正か確認して下さい。
13	WARninGNo.821に対する設計方針を示して下さい。
14	X12-X13Y5-Y7間の構造スラブが一貫計算で配置されてません。また、X12-X13間Y8-Y10間CS5についても確認して下さい。
15	クレーン荷重の計算で、衝撃力として20%UPするとありますがPAmAX、PBmAXとも1.2倍されていません。確認して下さい。
16	ソーラーパネルの荷重はどこに考慮されているか明示して下さい。
17	ねじり部材ということで検討されていますが、先端荷重はどこに考慮されているか明示して下さい。
18	バスケットゴールの荷重はどのように考えていますか。また、可動ステージを壁に収納した場合の荷重はどのように考えていますか。
19	ハト小屋の屋根の重量は見込んでいますか。また、キュービクル・室外機などの位置及び重量がわかる資料を添付して下さい。
20	フレーム外の重量が考慮されています。エレベーター荷重と思われるが、内訳を示して下さい。
21	一貫計算P.97/1362のP25の値が0となっています。荷重値を確認して下さい。
22	一連計算に間仕切壁の荷重が考慮されていませんが、地震力時に与える影響について再検討して下さい。
23	屋外機荷重の形状および重量が不明です。
24	屋根・1階床・ピットの固定荷重詳細内訳を示して下さい。
25	屋根荷重の荷重内訳に登り梁、垂木、他をどのように考慮したのか内訳を追記して下さい。
26	屋上の設備荷重には、基礎重量を考慮していますか。

No.	説明要求事項：荷重[S1]
27	屋上緑化の土、樹木等の荷重根拠を説明して下さい。また、調理室の設備荷重についてどのように考えたか説明して下さい。
28	階段室の積載荷重が0となっていますが妥当か確認して下さい。
29	外壁仕上げ重量は、壁フカシ重量をどのように考慮しているか説明して下さい。
30	間仕切り荷重が確認できません。2階間仕切り荷重は長期・短期時応力に、1階間仕切り上部は短期時応力に影響がありますので検討して下さい。
31	間仕切り重量の根拠を示して下さい。また1階の間仕切り重量はどのように考慮していますか。
32	間柱の検討で軸力の内訳を追記して下さい。
33	間柱の有効細長比 λY が200を超えているものがありますので(令65条)確認して下さい。
34	基礎の偏心による応力の根拠を説明して下さい。
35	基礎梁のフカシ重量において、一貫プログラムでは梁成からスラブ厚さを引いているため、内側部及び小梁にはフカシ厚分の全て重量を見込む必要がありませんか。確認して下さい。
36	機械浴槽の重量は考慮されていますか。確認して下さい。
37	計算書P.239で外壁RC腰壁重量は考慮していますか。
38	計算書P.315ササラ計算の重量の根拠を示して下さい。また、階段部材のリストを明記して下さい。
39	計算書P.36/288において、B通り底の部材を配置した上で、柱中間荷重として底荷重を重複して設定しているのはなぜですか。説明して下さい。
40	計算書P. I -2に記載のある、ルーフ上の土の範囲および土量の分かる資料を追加して下さい。また当該部分の矩計図を示して下さい。
41	杭頭曲げによる一貫計算での追加荷重の値と根拠を示して下さい。
42	室外機の荷重の表示は集中荷重Pではないか確認して下さい。
43	室外機基礎の大きさが意匠図と不整合です。また、ハト小屋壁荷重の数値が確認できませんので再検証して下さい。
44	小屋組みの支点反力PXPYは一貫計算にて特殊荷重入力していますが、長期応力・積雪時応力の発生が小さいようです。適切か確認して下さい。
45	床のNo.5庇屋根のDLが0になっています。確認して下さい。
46	床荷重において、L3で積雪荷重を見込んでいませんが適切か認して下さい。また、伝達方法が両方向となっています。
47	詳細図D-66に小浴室、脱衣室にシンダーコンクリート等が記載されていますが、荷重は何処で考慮されていますか。
48	上階ほど柱のサイズを絞っており、立面図からは見付け幅が変わらない様に見えますが、柱のふかし寸法が意匠図、構造図では確認できません。解析上で柱のコンクリートふかしの重量は考慮していますか。確認して下さい。
49	図書館の積載荷重の根拠を説明して下さい。
50	図面D-66に記載されている、2階厨房および1階小浴室または大浴場のシンダーコンクリート荷重は計算書中どこで考慮されていますか。

No.	説明要求事項：荷重[S1]
51	積載荷重の項で、No.11の教室が将来荷重対応としてスラブ用荷重のみ積載荷重が大きくなっていますが、ラーメン用・地震用荷重には将来荷重を見込まないことについて説明して下さい。
52	積載重量の根拠を示して下さい。また、想定した装置機械の重量が分かる資料を添付して下さい。また、2次部材の検討において、想定した装置機械の地震時を考慮しているか確認して下さい。
53	積雪荷重に対する検討を追加して下さい。
54	設備荷重の形状・容量・架台形状等が不明です。解りやすい資料を添付して特殊荷重をSS-3にどのように入力したのか説明して下さい。
55	節点補正重量の根拠を示して下さい。
56	倉庫・書庫・機械置場の積載荷重根拠を追記して下さい。
57	大梁小梁とデッキスラブとが一致していない間隔部分のコンクリート重量が全て抜けているようですので確認して下さい。
58	地震用層せん断力の計算で、 $W1/A=1.8\text{kN}/\text{m}^2$ は地震用屋根荷重 $2.6\text{kN}/\text{m}^2$ (P12)より小さい値となっていますが、適切か確認して下さい。
59	地中梁天端の特殊荷重 $3.36\text{kN}/\text{m}$ の内訳を追記して下さい。また、庇・パラペットの特殊荷重は何処に考慮されているか明示して下さい。
60	柱仕上げ荷重なしとありますが、意匠図では仕上げがあるようですので確認して下さい。
61	追加荷重が考慮されていません。手摺り、パラペット、破風等の荷重の考慮はどこで行っていますか。また、一連で入力できない階段・風除室の荷重などはどこで入力していますか。入力がわかるような図と式を添付し検討して下さい。
62	塔屋の水平震度は、 A_i 分布による値より大きくなっていることを確認して下さい。
63	特殊荷重No.6クレーン2のP2パラメータが正符号で入力されていますが、鉛直上向きの荷重となっていないませんか。入力符号の妥当性を確認して下さい。
64	特殊荷重のCL2とCS3の数値が逆と思われます。確認の上修正して下さい。
65	庇(大庇)の仕上げがA-010の仕上表と不整合です。
66	庇の一貫計算の積雪に対する入力、風圧に対する吹上の検討は適切か確認して下さい。
67	風圧面積は適正か確認して下さい。
68	風荷重が屋根面に考慮されていないので設計方針を追記して下さい。
69	壁リストで、W1およびW2は仕上げ重量の根拠を示して下さい。また、W4,W5の重量根拠を示して下さい。P2の荷重と関連するのであれば分かるようにして下さい。
70	壁荷重がP1の荷重内訳と不整合です。また、二次部材の検討に数値が###と表示されている部分がありますので修正して下さい。
71	梁の耐火被覆は、どのように考慮していますか。

No.	説明要求事項：モデル化[S2]
1	1階の階高及び構造階高は適正ですか。また、スパン長の構造心とのずれ0.225は適正か確認して下さい。
2	1階の構造計算用階高差が350とされていますが、地中梁の1/2=400ではないか確認して下さい。また、階高が高くなる分の安全性について再検討して下さい。
3	1階梁の剛度増大が考慮されていませんが、スラブの取り付け等考慮すべきと思われます。
4	2階伏図でX5～X6のY2～Y4間の小梁B4の配置が構造図と不整合です。
5	3階Y方向のみ偏心率が大きい理由を説明して下さい。
6	4通り及び6通りフレームのB～C通りの中間の基礎は無い位置に支点を設けていますが、構造モデル上の妥当性について説明して下さい。
7	D通り⑤～⑥通り2G7の⑥通り節点は実質上R階に接続されていますが、モデル化上2階節点に接続されていることについて、平面解析等により安全を確認して下さい。
8	Iフレーム1通り、柱脚のモデル化が他柱脚と異なるように思われますが、考え方を記載して下さい。
9	KA～KC通りのK1軸の基礎の偏芯についてはどこで考慮しているか説明して下さい。
10	RFの4-6間のT1、2-3間の大庇の荷重伝達方向、B、7通りの小庇、1Fの7通りのCS1の入力が構造図と不整合です。
11	S-11のZFG1の既存部の鉄筋の取り合いと計算上のモデルについて剛接合としていますが、各応力が既設部と呼応するディテールとして適切であることを説明して下さい。
12	SC梁の剛性評価による剛性低下率の計算内訳を追記して下さい。
13	UF通りU6～U7間のSB340, SB34は柱の途中に取り付きますが、モデル化が適切か考え方を説明して下さい。
14	WARninGに対する説明は、モデル化に関する考え方などを含めて、詳しく記して下さい。
15	X1～X3、X6～X8通り柱のソデ壁下部は片持ち梁か確認し、図面と整合させて下さい。
16	X15～X17/Y9～Y11の大階段のX方向およびY方向の水平剛性はどのように考えていますか。
17	X1フレームのY0の独立柱の地震力についてどのような処理をしたか説明して下さい。
18	X1通りY11のR階など、梁せいを超える梁段差は構造モデル上どのように考えているか、説明して下さい。
19	X2-Y5軸に意匠図面A-102では柱がありますが、構造図及び構造計算では見当たりません。確認して下さい。
20	X方向スパンに構造図とのずれが有ります。Y方向ではA：F通りのずれ寸法について確認の上再検証して下さい。
21	Y1, Y5通りのX2～X3, X5～X6に地中梁がありませんが、この部分のRC腰壁及び外壁荷重はどのように基礎へ伝えるのか説明して下さい。
22	Y1'フレームの柱脚部が剛接合となっています。適切か確認して下さい。
23	Y方向構造スパンが柱芯～芯となっていないことの妥当性について説明して下さい。
24	クレーン作業時の長期の水平力に対する主フレーム、KG1, KG2, P2の検討はされていますか。

No.	説明要求事項：モデル化[S2]
25	フレームモデル化において間柱を入力していますが、計算書P. 164/689にある柱軸力は断面算定において考慮されていますか。
26	プレストレストコンクリート造の設計で、屋根勾配の考慮、接合部のNG部分（P. 129）の検討を追加して下さい。また、S-23で緊張端が不明ですので確認して下さい。
27	意匠通り芯と構造計算上の柱芯とのずれが実状と異なっていると判断されます。確認して下さい。
28	一連計算のP. 35では全体剛床、P. 105及びP. 643ではグループ指定をされており、概要書P. 01では2剛床とすると記されています。区分けした剛床を伏図等に図示し、剛床毎の水平力を追記して下さい。またP. 643において2,3階と4階で剛床グループの指定が違うのは何故か説明して下さい。
29	屋根ブレースの配置について、X3/Y2の位置での水平時応力の伝達は問題ありませんか。説明して下さい。
30	階高及び構造階高は適正ですか。X, Y方向の構造階高の違い及び地中梁とマットスラブによる構造階高の違いについてどのように入力しているか説明して下さい。
31	各階のスラブ厚を20.00cmとしています。ボイドスラブの厚さは梁剛度に反映されているか確認して下さい。
32	構造階高が実情と異なっています。確認して下さい。
33	構造計算書P. 31, P. 32等で、R階の梁の段差または2重梁（上下に梁が近接している部位）となっている部分がありますが、設計上どのように配慮しているのか設計方針を示して下さい。
34	構造心ずれの入力で、Y3、Y4通りは共に225mmとなっています。Y3：X12～X15の柱は700*700のため基礎偏心距離の入力の必要がありますので確認の上再検討して下さい。
35	小梁配置が構造図と計算書で不整合です。全階について確認して下さい。また小梁断面配置も構造伏図の断面と不整合です。小梁符号も構造図と一致させて下さい。
36	上部屋根の水平せん断力は、どのように伝達されているか説明して下さい。
39	伏図及び軸組図にスリット形状・位置が不明です。また計算書にあるスリット位置と一致していませんので、全て確認して伏図・軸組図に記載して下さい。
40	平面形状に吹抜部分が多いことから剛床解除をして解析するとされていますが、⑤～⑬：(E)～(J)のブロックが解除されていない理由を記述して下さい。
41	保有水平耐力の集計は、各剛床(ゾーン)ごとに示して下さい。
42	方立て壁の評価方法を追記して下さい。（2007年版技術解説書P. 651～）
43	本建物は3層と思われませんが、4層としているモデル化についてコメントを追記して下さい。
44	梁の剛度増大率入力値の根拠を示して下さい。

No.	説明要求事項：応力解析[S3]
1	FG1～3：2段配筋の重心位置寸法計算過程を示して下さい。RG2、2G2、B1は断面が図面と不整合です。
2	I-28において算出している基礎の長期応力比（端部中央）が一貫計算の応力比と不整合です。
3	X2フレームのY1軸の応力図を他の通りと比較すると、クレーンによる地震力(79x0.197=15.5kN)が反映していないようですが、その理由を説明して下さい。
4	X3通りZ05層のRG13に大きな軸力が生じているのはなぜか説明して下さい。
5	Y1・Y2通りのRSL各節点における応力が釣り合っていません。応力状態が妥当であることを示して下さい。（鉛直荷重時、水平荷重時、保有水平耐力時）
6	一貫計算P.337/1362のX10フレームY19通り2、3階の応力は適切か確認して下さい。
7	基礎梁の検討でP.356のX2通りの応力で検討していますが、中央部はその他の通りのほうが不利なのではないでしょうか。FG2の中央部の検討及びたわみの検討を添付して下さい。また、鉄骨G1梁の門型部分（クレーンあり・なし）の検討も添付して下さい。
8	柱脚ポストの剛域長さが一次設計P70と二次設計P213,275とで不整合です。柱脚ポストの剛性及び耐力はどのように評価されているか説明して下さい。
9	長期応力図及び積雪時応力図の片持梁の応力が0になっています。確認して下さい。
10	特殊荷重のG4、G6はどこに配置されていますか。指示して下さい。
11	特殊荷重配置図がP4-10と不整合です。また、機械室荷重の水平力及び点検用通路キャンチ梁の曲げが柱中間にかかりますが、その影響について考え方を示して下さい。
12	免震装置からの地中梁に対する曲げ応力は、どこで考慮していますか。また、その値と根拠を示して下さい。
13	面内雑壁のn値が0となっていますが、0とした根拠を記載して下さい。
14	梁間方向の地震時応力が、正加力、負加力で反転の曲げ応力図形状でないことの理由を説明して下さい。また、変位図を提示して下さい。

No.	説明要求事項：断面算定[S4]
1	2FのY1～2、X8～9間のB3、パラペット立上りの縦胴縁の断面算定が不明ですので確認して下さい。
2	2G1の検定比が1.0でOKですが上記モデル化関連の訂正により、再計算後NGとしないことを確認して下さい。
3	2G4材に対する横補剛材の有効性について追記して下さい。
4	2階1通C軸大梁G1について、座屈長さの値を確認して下さい。
5	2階伏図とR階伏図の母屋の検討を行って下さい。また、R階の母屋受梁の検討を行って下さい。
6	B1, HB1の壁ブレースによる軸力を考慮した部材、接合部の検討を追加して下さい。
7	CFG1の主筋径、及びFB2の主筋本数、スターラップ径が図面と不整合です。
8	FG1A端部6-D25と中央2-D25の配筋の差が大きいです。1/4点での設計は満足していますか。
9	FG1のたわみがスパン17.37mに対して小さいと思われませんが適切か確認して下さい。
10	G2, G3について、Dの値の根拠を説明して下さい。
11	KP2の柱脚の設計がありませんが、安全であることを確認して下さい。
12	RG17、3G17、2G17の配筋が図面では2段配筋となっていますが、計算書では1段配筋となっています。
13	R階の横補剛計算で本数と位置について図面と不整合です。また横補剛材(小梁材も含む)の検討をして下さい。(ビルディングレターH22年8月20日参照)
14	WSP1について、WSG1との接合部での有効断面積をどのように考えているか説明して下さい。
15	Y方向加力時のA、E通り3～6通りのC1は1～2階に渡る1本柱となります。 λY の値を確認して下さい。
16	ピットの設計に表面載荷の検討がされていません。
17	ベースプレートのサイズが図面と不整合です。また、アンカーボルトの位置は正しいか確認して下さい。
18	メカニズム時に接合部が破壊しないことを確認して下さい。
19	横補剛材T及び、大梁の横補剛材としている小梁について、横補剛材としての計算(接合部を含む)を示して下さい。また、接合部の納まりを詳細図に明記して下さい。
20	屋根ブレースの箇所が、各フレームに伝達可能な箇所と不整合です。
21	階段、鉄骨部材(小梁、屋根ブレース等)の設計が確認できませんので追加して下さい。
22	間柱P1の断面算定において、風荷重による曲げを考慮した断面検定結果を示して下さい。
23	傾斜梁がありますが、梁に軸力は考慮しているか説明して下さい。
24	建物北西部の底の部材CG1、CG5について積雪時、風時の検討を行って下さい。
25	座屈長さの考え方について説明して下さい。その他、算定シートの各項目について、計算過程がわかるようにして下さい。

No.	説明要求事項：断面算定[S4]
26	主柱C1に片持梁CG1が接続していますので、CG1による応力を考慮した柱の断面検定結果を示して下さい。
27	耐震壁廻り以外の部材で断面計算を省略している部材があります。安全確認をどのようにしているか説明して下さい。
28	大梁断面算定において、端部と中央の断面性能がかなり異なりますが、ハンチ部分での設計は満足しているか確認して下さい。
29	地中梁の検定値図を示して下さい。
30	地中梁の断面計算で、地震時および杭の曲げ戻し応力が少ないですが、このことについて説明して下さい。
31	地中梁の断面算定でDT=6.0Cmとなっていることについて、地中のかぶり厚さが確保できるか確認して下さい。
32	地中梁断面算定において杭頭曲げMPの値はどこで算出していますか、また杭頭曲げを考慮した応力図を記載して下さい。
33	柱の座屈長さを直接入力されていますが、1通り・13通りの柱は軸ブレースが取りつきません。BOA材が有効に働くか説明して下さい。
34	柱の断面検討で1C1の配筋が8-D25となっていますが、図面と不整合です。また、基礎梁の検討を行って下さい。
35	柱の断面算定において、座屈長さは鋼構造塑性設計指針に基づいて検証して下さい。
36	柱軸力および許容圧縮応力度の根拠を示して下さい。
37	壁リストで、W1のDTは施工手順および設計かぶり厚さを考慮した値となっていますか。確認して下さい。
38	保有耐力算定時の水平ブレースの検討について考え方を説明して下さい。
39	木造部の断面算定B5B6部分が不明です。G1柱脚の設計が不明です。資料を添付をして下さい。

No.	説明要求事項：柱脚の設計[S5]
1	P. 209の破断防止で検討していない項目がありますが、その項目が安全であるか説明して下さい。
2	勾配屋根の柱脚の検討（せん断力、引抜き等）が不明です。
3	増設用アンカーボルトとありますが、計算した形状であるのか既存図面を示して下さい。また、柱脚部の断面図（立面）も添付して下さい。
4	露出柱脚保有耐力の判定で計算ルト2として検討されていますが、本計算書はルト3ですのでルト3として再検討して下さい。

No.	説明要求事項：基礎の設計[S6]
1	F3の設計配筋が18-D16となっていますが、必要本数31-D16に足りていません。
2	F4・F5・F6基礎のはかま筋の検討を追記して下さい。
3	F5の基礎においてY方向の杭頭曲げ応力はどのように処理されていますか。
4	P. 082～P. 090の計算は、P. 092～P. 121の計算と杭の応力が違いますが、そのことについて説明して下さい。
5	P135の支点反力とNLの関係を追記して下さい。
6	P30の計算数値が一貫計算のP341からの数値と不整合です。また、計算書その2P38の多層地盤とした場合の曲げ応力とも不整合です。
7	TF6ベース筋が図面と不整合です。
8	ボーリングNo2の杭先端N値が20を下回っていると思われませんが、先端N値20の採用は適切ですか。確認して下さい。
9	基礎F1のフーチング寸法が構造計算書P38では2800×1800、構造図S-09では2400×1600と不整合です。
10	基礎計算書P168において地盤の許容支持力度を330kN/m ² としていますが、P128～においては450kN/m ² として検討していることについて、設計方針を示して下さい。
11	既設杭を残置する設計としていますが、杭頭の処理の方法等設計上配慮した事項について、設計方針を示して下さい。また、Y3通りについては既設杭がありませんが、既設杭が残る他の基礎との間で不同沈下の懸念はありませんか。説明して下さい。
12	計算書124頁と176頁で液状化についての考え方が異なります。設計者のコメントを追記して下さい。
13	計算書P. 328長期地耐力は500kN/m ² ですか。図面と不整合です。
14	杭の支持力の計算において、ボーリングデータがN01からN08までありますが、どのデータを用いてどのような評価をした結果なのか解る資料を添付して下さい。
15	杭頭補強の計算をして下さい。
16	支持層は設計GL-2.68m以深の・・・とありますが、他の図書では全てGL-3.0mと不整合です。
17	設計配合と設計基準強度=900KN/m ² の関係資料または計算書を添付して下さい。また、9.品質検査の(2)設計対象層が未記入ですので記入下さい。
18	地耐力の計算で改良地盤底までのDFが図面、柱状図、計算書全てで不整合です。また改良地盤底のN値=12を採用した根拠を記述して下さい。
19	地耐力の計算に於いて、GL-2.45レベルの採用N値は26.978となっていますが、GL-3.15付近にN値11と下がる値が認められます。その影響のないことを説明して下さい。また内部摩擦角φ=45.332°の算定根拠を明示して下さい。
20	地耐力の算定時N=11/GL-2.8mの採用について、柱状図02でGL-2.8mの深さですと、シルト層の範囲が支持層となる恐れがあります。従って、設計GLと柱状図の孔口標高の関係を記載し、N値11を確実に見込めることを確認して下さい。
21	地中梁がない基礎F1について終局時の検討をして下さい。
22	地中梁等の重量2,659kNは一貫計算と整合しているか確認して下さい。
23	地盤の許容応力度の計算で、加力方向について地中梁が配置されていない場合に、荷重の傾斜角度を考慮しない理由を説明して下さい。

No.	説明要求事項：基礎の設計[S6]
24	地盤の許容支持力の計算をしていますが、計算に使用したN値の根拠を説明して下さい。構造図S-09のボーリングB-1でも150kN/m ² の許容支持力が得られますか。確認して下さい。
25	地盤の許容支持力度の算定においてDF=1.4m(改良体底面=2.4m)として算定していますが、地盤面がGL-600mmとなる範囲について、安全性を確認して下さい。
26	地盤改良の深さが、計算と図面で不整合です。また、伏図に改良深さが分かる様に示して下さい。また、地盤改良の仕様書を添付して下さい。
27	地盤改良の地震時水平力に対する検討を示して下さい。
28	地盤許容支持力の算定において、スウェーデン式サウンディングによる算定ではN _{sW} は150以下となっています。N値を見直し再検討して下さい。
29	電算出力P344と構造計算書P88の杭頭モーメントによる地中梁への戻りモーメントの数値が不整合です。
30	独立基礎F2、F6の設計においてDF値に誤りが有ります。確認の上修正して下さい。
31	認定工法（ニーディング工法建設省井住指発第2号）とされていますが、認定内容が記されている認定書を添付して下さい。
32	本体躯体の検討書P.1において、ステージ2の長期支点反力141kNは一貫計算と一致していません。又、架構用積載荷重表の数量が不明です。
33	本体躯体の検討書P.3において、支点反力は架構用積載4208N/m ² を考慮した荷重でしょうか。支点反力のわかる資料を添付して下さい。

No.	説明要求事項：保有水平耐力[S7]
1	2G2、RG1、RG11は、保有耐力横補剛とは評価できません。その他の部材も含めて再確認し、DSを再評価して保有水平耐力を算定して下さい。
2	2階7通りのC～D間部材の横補剛材において、保有耐力算定時の条件として横補剛材が均等に配置されることを前提としていますが、階段室部分はこの条件を満たしていません。確認して下さい。
3	3フレーム101軸Z01層で曲げモーメントが釣り合っていない理由を説明して下さい。
4	DS算定時応力図および保有水平耐力時応力図において、杭頭位置での終局曲げ耐力がP50の杭基礎の転倒限界モーメントを超えています。
5	DS値の決定の/柱・梁種別DランクDS=0.4の経緯について説明して下さい。
6	F1基礎がメカニズム時応力を伝達できる事を確認して下さい。
7	NST4S梁の横補剛の検討が端部に近い部分に設ける方法となっています。また、NST0の5項目目が横座屈を考慮しないとなっていますが、この理由を説明して下さい。
8	横補剛材の検討に必要な取付詳細図が不明ですので、添付して下さい。
9	外力分布が直接入力されていますが、数値の根拠を示して下さい。
10	計算書P. 221/376他で中空の角形鋼管を内蔵した被覆形鋼管コンクリート柱WC1、WC2をRC柱として耐力を算定していますが、耐力算定の方法として妥当でしょうか。設計方針を説明して下さい。
11	計算書P. 569のRG 1 梁の終局耐力は横座屈耐力McRを考慮した値かどうか確認し、計算書中の該当箇所を示して下さい。
12	計算書P. 637において、地中梁に曲げヒンジが生じていることについて所見を示して下さい。
13	計算書P28/424の設計方針とP372/424の保有耐力算定時が不整合です。また、基礎構造の設計方針と設計の地盤改良が不整合です。
14	大梁H-200X100で保有耐力接合ですか（SCSS-97では α を満足していない）保有耐力接合であるか、継ぎ手部の計算を添付して下さい。
15	大梁の横補剛材の補剛箇所数の適否の分かる資料を追加して下さい。また、補剛箇所数が不足する場合は、横座屈強度に関係するので、横補剛材の強度および剛性の検討を追加して下さい。
16	保有時のY方向R加力時の基礎反力図で、X1・Y4の値がP170/459の長期鉛直基礎反力を上回り、浮き上がりが生じていると思われるので確認して下さい。
17	保有水平耐力時に塔屋のブレースが破断しています。所見を追加して下さい。
18	保有耐力横補剛の検討でRG2（10m）の部材が図面と不整合です。
19	保有耐力計算時に基礎が浮き上がっている箇所があります。どのように考えたか説明して下さい。
20	保有耐力接合部G15の上フランジボルト本数が図面と不整合です。
21	崩壊形の確認の項が局部崩壊となっていますが、間違いはないか確認して下さい。
22	冷間成形角形鋼管の崩壊形判定に必要な柱梁耐力比をプリントアウトして下さい。

No.	説明要求事項：その他[S8]
1	C1アンカーボルトの材質は「SS400」ですか。確認して下さい。（特記仕様書にも記載されていません）また、V12L-75×75×9つづりプレート、ボルトの表記をして下さい。
2	EVオーバーヘッドの設計で壁ブレースの計算はしていますか。確認して下さい。
3	EXPJの寸法が不明です、根拠を示して構造図に記載して下さい。
4	FG3の断面サイズ、FG4の断面サイズ及びSTのピッチが図面と不整合です。
5	GLの高さ/基礎の深さが不整合です。
6	P0179のX7通り応力図において、R2レベルの山形梁・棟がR3レベルの大梁と離れていることについて、実架構と異なりますが応力・変位・断面算定が適切か説明して下さい。
7	P2の検討を行って下さい。 4C1上部のP2補強プレートの柱パネル内容接の手順を説明して下さい。
8	RC階段配筋図面がありませんので作成して下さい。また鉄骨階段がありますが、構造計算及び構造図がありません。接合部も含めて検討して下さい。
9	RG1、RG2、RG3、2G10は端部にハンチがついていますが部材リストにありません。鉄骨詳細図と整合させて下さい。また、これらのハンチは計算に反映されていませんが確認して下さい。
10	RG1のスパン長は約17.5mありますので横補剛数が満足していません。また、RG1の17.5mスパンの場合のたわみ量(C通り位置)を明示して下さい。
11	X0とX7、X8通りの構造芯とのずれが同じですが、間違いはないか確認して下さい。また、構造図に通芯と柱の空きがわかるように寸法を記入して下さい。
12	Y2：X3～X4の杭頭戻りモーメントの入力値が計-143の内訳値と不整合です。
13	プレストレストコンクリートで使用されるPC鋼より線に対応する接続部（緊張端・固定端）金具の耐力が確認できるカタログ等の資料を添付して下さい。
14	ボイラー室の意匠図がありますが、構造図は必要ないか確認して下さい。
15	ボーリング柱状図に基礎形状を記載して下さい。
16	ボーリング調査位置を計算書に添付して下さい。
17	液状化についての判定書を添付して下さい。また、保有時について説明して下さい。
18	横補剛部材の検討で $E2=635E1=245$ となっていますが、適正か確認して下さい。
19	屋外階段およびスベリ台の重量は安全に本体に伝達していることを説明して下さい。
20	屋根ブレースサイズが計算書と図面で不整合です。
21	化粧ルーバーがありますが荷重を考慮していますか、また部材及び納まりが不明ですので安全性を検証して下さい。
22	荷重等の確認ができない箇所がありますので、渡り廊下の仕上げその他、各部寸法がわかる断面矩計図を追加願います。
23	外部階段及び非難用スロープ基礎の計算はしていますか。構造図にも基礎がありません。確認して下さい。②非難用スロープの水平荷重の考え方を記述して下さい。

No.	説明要求事項：その他[S8]
24	計算書P. 35の円形スラブ撓みの最大値0.235Cm(16×0.235=3.76Cm)は、P. 19のクライテリアに比べ大きくありませんか。 P. 35の荷重ケース2(DL2)の荷重条件を示して下さい。
25	計算書P. 80の捻れ応力37.0kNmは、梁の軸方向の単位長さ当たり、または単位要素当たりの応力ではありませんか。確認して下さい。
26	警告メッセージに対する回答を明記して下さい。
27	構造計算方針ー応力解析の一項目の「2層部の屋根面は～」が当計算には該当しないと思われます。確認して下さい。
28	構造図17にあるニューフェローデッキの記載とスラブリストの標記が異なります。ニューフェローデッキの使用はありますか、確認して下さい。
29	三方スリット壁の面外曲げに対する検討はしていますか。確認して下さい。
30	小梁の検討で、荷重の負担長さが正しいか図面で確認できません。等分割以外のものは図面上に小梁の割り付け寸法を記載して下さい。
31	水平バネの根拠を示して下さい。
32	水平力の移動の計算で移動量に対してOKになるのかの検討がありません。検討結果を示して下さい。
33	折板の計算においてスパンを3.75mとしています、下屋伏図のX2-3位置で4.15mスパンとなっている箇所があります。確認して下さい。
34	層間変形角が大きいので外壁材が変形に追従できるか検討して下さい。
35	大梁の横補剛材の安全性についての検証を追記して下さい。
36	大梁横補剛の検討結果において、RF1X4Y0及びX6Y0位置のG9の横補剛本数が2本になっていますが、図面では1本で不整合です。
37	地中梁FG1・FG11の配筋が計算書では1段配筋となっていますが図面では2段配筋となっています。FB2ではサイズが図面と不整合です。確認して下さい。
38	地中梁の梁貫通孔（および人通口）の大きさと位置、補強方法を示して下さい。
39	竹中式H形鋼アンボンドブレースの評定書等を追加して下さい。
40	吊材接続部ガセットプレートの弱軸に対する安全性を検討して下さい。
41	電算0327の編心率の出力において、1F・2FのX方向加力時の重心、剛心位置は適正か確認して下さい。また、2FY3通りの負担水平力がP097において0となっていることについて説明して下さい。
42	備考にSH-1の記号があり、ハイベースの座金を溶接する必要があります。図面で確認できませんので、記載して下さい。
43	本設計で保有水平耐力により安全を確認しておりますが、偏心率がかなり過大であることについて設計方針を示して下さい。

No.	説明要求事項：小梁、ブレース、その他[S9]
1	1通A～B通間の1階2階壁には、外階段より、X方向地震時に面外応力が生じると考えられますが、どのように考慮していますか。
2	2F2-3B2(スパン長5.01m)の床荷重負担幅は適正か確認して下さい。
3	②P17Wの等分布荷重は何を示していますか。(風荷重ですか)確認して下さい。
4	5通/D通のDW1を受けるスラブの計算を示して下さい。
5	6～7通り間の7通り側の水平ブレースが大梁から離れていますが、大梁及び小梁のガセットプレートに弱軸曲げ応力が生じないか確認して下さい。
6	⑧⑩P1のたわみ量が大きいです。考え方を明示して下さい。荷重形式は等分布ばかりでなく集中荷重も有ります。実状に合わせて検討して下さい。
7	B5及びB4(L=7.0m)の積雪時の検討はしていますか。また、B4(L=6.0m)の積雪時の積雪荷重は入っていますか。確認して下さい。
8	D-21図面のパラペット庇の計算と構造図を示して下さい。また、アルミ押出型材の庇の計算と取付け部分の詳細図を示して下さい。
9	P15W間柱の接合部の計算を示して下さい。
10	P29B12の中央上端筋、P30B22のあばら筋が設計図と不整合です。 P512B92、P552B93がリストにありません。 P56B1のスパン数は合っていますか。
11	QLデッキの検討に水平力加力時の検討を追記して下さい。
12	RB1、RB2の検討で接続部ボルトの本数が図面と不整合です。横補剛の検討にも影響していますので、再確認して下さい。
13	UD通りのキャットウォークはSB35から吊っているようですが、SB35でその計算はしているか確認して下さい。
14	WB1の検討で負担幅・荷重形式が実状と異なっています。
15	X,Y方向とも剛床仮定に基づいて検討しているようですが、Y方向の水平ブレースの検討はされていますか。
16	X1・X7通りの開口部両脇の横胴縁受材について、断面検討結果を示して下さい。
17	X14通り側B11小梁について、パラペットの重量は考慮されていますか。また、フレーム形状から地震時の荷重等が考えられると思われますので安全であることを確認して下さい。さらに、X2通り側のB11小梁でY5端側配筋は満足しているか確認して下さい。
18	スラブの設計荷重について、固定荷重+積載荷重に加算していると思われる荷重は何に依るものか明記して下さい。 また、検討する室名等を記載して下さい。
19	デッキの計算が3連梁となっていますが、単純梁または2連梁となるものはないか確認して下さい。
20	デッキプレートにかかる荷重合計が床荷重表と不整合です。
21	デッキプレートをL=2.25mで検討していますが、P010の伏図で7～8間階段脇にデッキプレート方向によっては2.25mを超える個所があります。また、P27/447で同個所の小梁位置が不整合です。
22	モヤの設計で、勾配が考慮されていません。
23	意匠図A-21のY3-1800のパラペット部に係るALC受けの部材について検討を行って下さい。
24	横補剛材の接合部の検討を示して下さい。(ビルディングレター2010.8月号のQ&Aが参考になります。)
25	屋根ブレースの設計において、短期許容引張耐力RNの値が計算図表と不整合です。確認して下さい。

No.	説明要求事項：小梁、ブレース、その他[S9]
26	外壁HB2の検討で座屈長さが3.5mとなっています。適正か確認して下さい。
27	間柱、胴縁の検討で<鉛直時+地震時>と表記されていますが<地震時+風圧時>でないか確認して下さい。また、地震時についての検討も追記して下さい。
28	間柱P2検証で水平力、軸力の見直し及び長期荷重又は短期荷重について再検証して下さい。
29	間柱P3、胴縁及び外壁開口補強材の検討はしているか説明して下さい。
30	間柱の計算で間柱途中にある底からの曲げモーメントが抜けています。
31	間柱の検討に柱脚アンカーボルトの検証を追記して下さい。
32	計算書P.27のS2は図面のどの部位でしょうか。また、耐圧版の短辺スパンは正しいですか。P.28で片持ちスラブの変形が大きいです。安全性について説明して下さい。
33	計算書断面算定で、小梁B5とB2の接合部継手ボルトが横補剛材の検討及び図面とで不整合です。
34	腰壁・タレ壁・RC手摺の面外応力に対する検討を追記して下さい。
35	仕上げ重量300N/m ² は床荷重表と整合していますか。天井も含めると540N/m ² となりますので確認して下さい。また、屋根勾配を考慮して下さい。
36	支持間隔が2.5mとなっていますが、伏図では3.0m程度と不整合です。
37	軸ブレースが取り付くフレームの通りのB2, B3梁接合部の保有耐力時の検討を示して下さい。
38	軸組図に胴縁及び開口補強材を記入して下さい。
39	軸力が考慮されていません。
40	小梁の設計で、各部材の算定位置図の添付、集中荷重の内訳を追記して下さい。
41	小梁の設計においてSB24SB44SB20Wのボルト本数が図面と不整合です。
42	小梁の設計において荷重表と整合です。また、座屈長さに基づく許容応力度について検証して下さい。
43	床ブレースの検討で、検討重量(面積)は適正か確認して下さい。また、X方向の検討も行って下さい。
44	水平ブレースの検討に接続部を含む耐力表を添付して下さい。
45	水平ブレースの保有時の検討はしているか確認して下さい。 1階建てと2階建ての境界部であるY2通り周辺部、中庭や吹き抜けに面する部分、X11通り東側の突出部など水平ブレースに特に大きな応力が発生すると思われる部分の水平ブレースの検討を示して下さい。
46	水平ブレース接合/ガセットプレートの形状サイズと溶接サイズ及び溶接長を図面に明記して下さい。
47	耐風梁HB1は6通りで検討されたかと判断されますが、A通り4~5通りの方が不利な条件と思われるので確認して下さい。また関連するP2、P3についても検討して下さい。
48	柱脚の計算で軸力が軸力制限値以下の場合の処理についてジャストベースの資料を添付して下さい。
49	胴縁D1の変形が大きいです。所見を明記して下さい。また、ボルトが図面と不整合です。
50	胴縁のスパン長は3.0mを越える箇所があります。また、接合ボルトが高力ボルトになっています。

No.	説明要求事項：小梁、ブレース、その他[S9]
51	底部の水平ブレースが柱に取りついていないことにより、片持梁CG1の弱軸にモーメントが発生します。安全性について追加検討をして下さい。
52	片持ちスラブの配筋に対して、受梁スターラップおよび連続するスラブの配筋が少ないですが、片持ちスラブの応力はどのように伝達されるか説明して下さい。
53	片持ち梁CG11、CG12は、二次部材計算書による部材と図面が不整合です。一連計算書による部材も図面と不整合です。
54	片持梁CB8の検証で荷重が等分布荷重で検討されていますが、集中荷重と判断されますので再検討して下さい。
55	片持梁CG1について、先端部(H-500×300)に対する断面検定結果を示して下さい。またハンチ部について、どのように加工するのか判るような詳細図を示して下さい。